

第13回バイオ関連化学シンポジウム プログラム

2日目 9月5日(木) 午前

	A会場 工学部中央棟 2F 大講義室	B会場 工学部マテリアル理工講義棟 1F 第1講義室	C会場 工学部マテリアル理工講義棟 2F 第3講義室
9:10-10:30	ペプチド・蛋白質・酵素 座長：堀 雄一郎（阪大院工）	核酸関連 座長：塚塚 和光（東北大多元研）	分析・計測・センサー・デバイス 座長：伊野 浩介（東北大院工）
9:10-9:30	2A-19 人工メンブレンレスオルガネラによる細胞内タンパク質機能制御 ○吉井 達之・吉川 優・生田 雅裕・築地 真也 (名工大院工、JST、さきがけ、名工大フロンティア)	2B-19 DNA四重鎖ゲル生体適合性の検討 葛谷 明紀・田中 静磨・遊上 晋佑・○巽 康平・乾 大地・能崎 優太・大矢 裕一 (関西大化学生命工)	2C-19 rKACB法による核酸構造の1分子分析 ○川井 清彦・宮田 貴史・嶋田 直彦・丸山 厚 (阪大産研、東工大生命理工)
9:30-9:50	2A-20 両親媒性Ynペプチドタグを用いた蛋白質の細胞内集積化 ○三木 卓幸・中井 太一・堤 浩・三原 久和 (東京工業大学生命理工学院)	2B-20 ヘムをもつDNA酵素の酸化触媒機構 ○山本 泰彦・篠宮 僚介・小谷 弘明・荒木 はるか・柴田 友和・百武 篤也・柳澤 幸子・小倉 尚志・鈴木 秋弘・根矢 三郎・小島 隆彦 (筑波大院数物、兵庫県大院生命理、長岡高専物工、千葉大院薬)	2C-20 ルテニウム錯体を備えた多孔性ナノ粒子による低酸素イメージング ○田邊 一仁・北嶋 夏子・梅原 由衣・孫 安生・近藤 輝幸 (青山学院大 理工、京都大 院工)
9:50-10:10	2A-21 マウス乳癌細胞の浸潤過程における塩素イオンチャネルの機能解明に向けた細胞狭窄時における塩素イオン排出能の評価 ○山岸 彩奈・伊藤 文恵・金 賢徹・中村 史 (産総研/バイオメディカル、東農工大工生命工、東農工大院工生命工)	2B-21 ゲノムDNA合成を指向した新規核酸合成法の開発 ○須藤 宏城・三宅 優・西澤 周平・赤澤 紗彩・宮崎 祐宇・池田 黄介・大窪 章寛 (東京工業大学大学院生命理工学院、JST-CREST)	2C-21 電荷蓄積型電極を用いた積層酵素膜上でのアンモニアの高感度検出 ○佐々木 開・長峯 邦明・古澤 宏幸・時任 静士 (山形大院有材シス、山形大ROEL、山形大院理工)
10:10-10:30	2A-22 複数種の機能性ペプチドを提示したイオン性複合体による植物への遺伝子導入 ○宮本 昂明・土屋康佑・沼田圭司 (理研/バイオ高分子、JST ERATO)		2C-22 皮膚組織液センサのための多孔質マイクロニードル電極 ○甲斐 洋行 (東北大AIMR)
10:30-12:30	ポスター発表 2P-001~2P-082 (奇数番号 10:30~11:30 偶数番号 11:30~12:30)		
12:30-13:30	昼食		

第13回バイオ関連化学シンポジウム プログラム

2日目 9月5日(木) 午後1

	A会場 工学部中央棟 2F 大講義室	B会場 工学部マテリアル理工講義棟 1F 第1講義室	C会場 工学部マテリアル理工講義棟 2F 第3講義室
13:30-14:30	ペプチド・蛋白質・酵素 座長：中澤 光 (東北大院工)	核酸関連 座長：森廣 邦彦 (東大院工)	フォーカスセッション：ゲノム編集最前線 座長：相澤 康則 (東工大)
13:30-13:50	2A-23 モノクローナル抗体を第二配位圏とする超分子触媒の創製 安達 琢真・原田 明・山口 浩靖 (阪大院理、阪大産研)	2B-23 RGGモチーフによるグアニン四重鎖RNA凝集体形成機構 ○大吉 崇文・増澤 樹・岩波 文佳 (静大院理)	
13:50-14:10	2A-24 ひずみ解消型反応のタンパク質不可逆阻害への応用 ○徳永 啓佑・進藤 直哉・佐藤 磨美・桑田 啓子・王子田 彰夫 (九大院薬、名大 ITbM)	2B-24 生体直交型反応による細胞及び生体内の蛍光イメージング ○石塚 匠・劉 泓沁・徐 岩 (宮崎大医)	2C-24 (依頼講演) 遺伝子発現を制御するPIPコンジュゲートの開発 ○板東 俊和・杉山 弘 (京都大学大学院理学研究科、京都大学CeMS)
14:10-14:30	2A-25 ポリADPリボシル化酵素PARP-1によるDNA修復-W589残基の共同的分子間相互作用に基づくDNA修復のフィードバック機構— ○根木 滋・奥永 望月・鶴田 みどり (同女大薬)	2B-25 反応性核酸を用いた、ターンオン蛍光を伴う部位特異的リジン修飾 ○麻生 真理子・金城 綾香・阿部 由紀子・谷口 陽祐・佐々木 茂貴 (九州大院薬、九州大薬)	2C-25 (依頼講演) 精密、安全なゲノム編集・機能制御技術への展開 ○野村 渉 (広島大院医系科学)
14:30-14:40	休憩		
14:40-15:40	ペプチド・蛋白質・酵素 座長：松浦 和則 (鳥取大院工)	核酸関連 座長：神谷 由紀子 (名大院工)	フォーカスセッション：ゲノム編集最前線 座長：板東 俊和 (京大院工)
14:40-15:00	2A-26 人工光合成を目指した光化学的CO ₂ 還元分子触媒の開発 ○石田 斉・小田 暁・大塚 敦史・小島 千明 (北里大院理)	2B-26 A trifluoromethylation nucleoside derivative for Z-DNA structure study and nucleic acids therapeutics ○Hong-Liang Bao, Takumi Ishizuka, Yan Xu (Division of Chemistry, Department of Medical Sciences, Faculty of Medicine, University of Miyazaki)	2C-26 超高速光架橋反応を用いた部位特異的RNA編集(C to U) ○中村 重孝・Siddhant Sethi・本田 望・高嶋 康晴・藤本 健造 (北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術)
15:00-15:20	2A-27 紅色光合成細菌のLH2タンパク質に結合している色素分子の直接的構造変換 ○佐賀 佳央・山下 真花・大塚 悠史・中川 支央里 (近畿大理工)	2B-27 A-to-I RNA編集を部位特異的に誘導する機能性短鎖RNAの構築 ○野瀬 可那子・日高 航大・富田 洋平・福田 将虎 (福岡大院理、福岡大理工)	2C-27 (依頼講演) ゲノム構築学：ヒトゲノム機能性の根幹を見出す ○相澤 康則 (東京工業大学・生命理工学院)
15:20-15:40	2A-28 ポリフィセンマンガン錯体を含む再構成ヘルズゲートグロビンを触媒とするC-H結合水酸化反応 ○大洞 光司・千葉 夏乃・林 高史 (阪大院工)	2B-28 microRNAの高感度定量を志向したステムループ型SERSプローブの開発と機能評価 ○太田 良・福岡 雄基・荒木 悠汰・和久 友則・小堀 哲生 (京工繊大院工芸)	
15:40-15:50	休憩		

第13回バイオ関連化学シンポジウム プログラム

2日目 9月5日(木) 午後2

	A会場 工学部中央棟 2F 大講義室	B会場 工学部マテリアル理工講義棟 1F 第1講義室	C会場 工学部マテリアル理工講義棟 2F 第3講義室
15:50-16:50	ペプチド・蛋白質・酵素 座長：松尾 貴史 (奈良先端大)	ペプチド・蛋白質・酵素 座長：大洞 光司 (阪大院工)	フォーカスセッション：先端分光分析・ 計算科学を活用したバイオ関連化学最前線 座長：水上 進 (東北大多元研)
15:50-16:10	2A-29 希土類金属含有アルコール脱水素酵素における触媒反応機構 墨 岳夫・市田 尚久・船橋 靖博・平 大輔・野尻 正樹 (阪大院理、崇城大生物生命)	2B-29 cDNA TRAP 提示法の開発 ○近藤 太志・江口 みのり・鬼頭 清太・藤野 公茂・村上 裕 (名大院工生命分子、名大未来ナノ)	2C-29 (依頼講演) XFELと赤外レーザーを用いた酵素反応中間体の時間分解計測 ○久保 稔 (兵庫県立大・院生命理)
16:10-16:30	2A-30 合成金属錯体による緑膿菌のヘム獲得蛋白質HasAの機能化 ○四坂 勇磨・當舎 武彦・杉本 宏・城 宜嗣・小川 和也・荘司 長三 (名古屋大院理、理研・SPRING 8、JST CREST、兵庫県立大院生命理学、山梨大工)	2B-30 ヌクレアーゼ活性向上を指向したDNA-人工核酸キメラ分子構造設計と新機能創製 ○稲垣 雅仁・矢野 輝・海原 大輔・荒木 保幸・石橋 哲・西嶋 政樹・山吉 麻子・中谷 和彦・横田 隆徳・和田 健彦 (東北大学多元物質化学研究所、東京医科歯科大学神経内科、長崎大学薬学部、大阪大学産業科学研究所)	2C-30 (依頼講演) 量子アニーリングが示す社会の未来像 ○世永 公輝 (東北大情報、MathAM-OIL、株式会社Sigma-i)
16:30-16:50	2A-31 硫化水素に誘起される新規ヘム代謝反応 ○松井 敏高・及川 桐子・水上 進・齋藤 正男 (東北大多元研、東北大院生命、東北大院理)	2B-31 ペプチド医薬による抗体依存性細胞傷害の誘導とがん治療への適用 ○森 健・佐々木 光一・田川 寛・岸村 顕広・片山 佳樹 (九大院工・九大院シス生)	2C-31 マウス生体内イメージングを用いた一つのがん細胞のユニークな振る舞いの可視化 ○上田 善文・小澤 岳昌 (東京大学大学院理学系研究科化学専攻分析化学研究室)
16:50-17:00	休憩		
17:00-18:00	ペプチド・蛋白質・酵素 座長：野尻 正樹 (阪大院理)		フォーカスセッション：先端分光分析・ 計算科学を活用したバイオ関連化学最前線 座長：久保 稔 (兵庫県立大)
17:00-17:20	2A-32 ニトリルヒドラーゼの時間分解SFX解析と中性子構造解析に向けた取り組み 林 英輝・辻井 啓夢・岩藤 秀直・松村 洋寿・當舎 武彦・野村 高志・玉田 太郎・日下 勝弘・尾高 雅文 (秋田大院理工、理研SPRING-8、兵庫県大院生命理学、QST、茨城大)		2C-32 (依頼講演) ラマンデータ解析と微生物研究への展開 ○重藤 真介 (関学大院理工)
17:20-17:40	2A-33 Directed evolution を指向したOpRh錯体連結型バイオハイブリッド触媒の開発 ○小野田 晃・加藤 俊介・Ulrich Schwaneberg・林 高史 (阪大院工、アーヘン工科大)		2C-33 (依頼講演) 溶液NMRを用いた <i>in situ</i> 構造生物学 ○伊藤 隆・池谷 鉄兵 (首都大院理化学)
17:40-18:00	2A-34 ホウ素中性子捕捉療法を指向したオルガネラ集積性ペプチド修飾型ホウ素薬剤の開発 ○中瀬 生彦・片山 未来・服部 能英・石村 美紀・稲浦 峻亮・藤原 大佑・中瀬 朋夏・藤井 郁雄・二木 史朗・切畑 光統 (阪府大院理、阪府大ENCT、武庫女大薬、京大化研)		
18:00-18:20	移動		
18:20-20:20	懇親会 工学部中央棟1階 あおば食堂カフェテリア		